昭和廿一年六月一日
（第三種郵便物認可）

いわき民報

發行所
いわき民報社
平市田町一番地（電話三八一番）
編輯兼發行人 兼印刷人 千輝克己
日刊 但月曜日を除く
定價一ケ月 五円 一部二十錢

少年工募集
人員二十名
平市新田町二六
平硝子製作所
事務所
電七一・四五五

きのふの感激は何處へ

温い同胞愛で復員を迎へよ

田町區内會婦人部遂に立つ

平市田町區内會では最近復員者が漸く増加、平驛等にも敗戰の痛手に悄衰した復員兵の姿が多くなつたが、あの戰時下の感激に滿ちた歡送迎の姿はみられず復員兵達が一杯の水を求むるにもよしない有樣といつた慘めさであるのに鑑み、例へ戰爭が徒らに軍國主義者のあくなき野心に出で今祖國をかゝる苦境に陷れたといへ、彼等一介の兵には何等の罪も科もないのである、これを慰め、温い心で迎へてやつてこそ日本の再建は成るのである、驛の地元である區内會すらこれを顧みぬのは遺憾だと、この程役員常會を開いた結果、驛その他市等關係當局と連絡を密にし復員者の多い日は、區内會の婦人部が交替で出勤驛で湯茶の接待等の奉仕を實行することを申合せた、この温い接待は復員者達にどんな喜びを齎らすか知れぬ同胞援護會その他の關係當局では感激してゐる

湯本温泉組合寄附

湯本町温泉組合では一日組合長山崎武頼氏を通じ金二百圓を全町戰災者親和會へ基金にと寄附

交通道徳强調

平署員が現場で

交通道德の强化を期するため平署ではこの程一齊取締を勵行したところ殆んど零の有樣に、先づ自動車の運轉手の養成からと二日正午の休み時間を利用し係員が出張、丸通、磐城貨物自動車、常磐交通等の各職場毎に交通取締法規その他について訓示を乘ね講義その徹底を期した

平商復活資金造成

商友會立つ、役員も改選し

平商業學校卒業生連が結成する商友會では、"母校が今後縣立に昇格、今明兩年度繼續事業で復興されることに決定したので、同會としても設備その他の充實を期すべく相當額の寄附を募集することゝし去る二十九日總會を開いて協議の結果、一口五十圓とし一人一口以上を據出することを申合せ、同日缺席の會員には夫々この旨を通達協力を求めることに決定した、尚役員も改選したが新役員は左の通り

▼會長比佐三郎▼副會長宮川義一▼幹事長坂本忠治▼會計武藤一義、屋島治三郎▼幹事阿部金吉、井戸川安信、島田克、三輪喜美、酒井忠治、飯島正、穗積弘高、齋藤傳兵衛、武藤金一、瀧口寅雄、芹澤政助、百澤易正、小原修一、木田英夫、稻島正

大道異變

平　中青二

▽或る資産家の一人息子。今でこそ大學生として勉强してゐるが、彼が中學時代の話である。

▽中學校に入る位だから、頭は決して惡くはない。一年の時は相當の成績であつたが、年々下る一方。水際立つて落ちる。四年の時は遂に尻から一番になつた。

▽授業中はボンヤリしてゐること晝行燈の如く『君は國民學校の五年の教室と間違へて來たのでないか』と言はれる程、何を問かれても答へない。試驗の答案を調べる時は有難くなる程書いてない。洵に樂で手數がかゝらないで結構だが、眞實のところ泣きたくなる。

▽物になる心配は全然ないのだが、親としては眞劍。家業を繼がせる爲に、是非大學まで上げたい。金は何萬圓でも出すから賴むと涙を流しての依賴。

▽扨ボンヤリの原因如何と調査した。女もなし、マスもかゝぬ。唯家では机に向つてボンヤリ坐つてゐる。親は心配でたまらずガミ〳〵小言をいふ。父は職業柄殆んど留守、母は社交家で千客萬來、なければ押かけて行く。夜遲くまで熱辯をふるふ。朝は十時頃までネンネしてゐる一人息子は女中まかせで、朝の五時の汽車で通學するのだが、時々汽車に乘り遲れる。ヤレ辨當が間に合はぬと騷ぎ、錐入れが無いと探すこともある。そんな時には寢床の中から兩親が大聲で奴鳴り散らすのだが、さて教育は口先では出來ない。

今週の潮位

小名濱測候所發表にかゝる今週の潮位表は左の通り

	舊暦（六月）	滿潮 時分	干潮 時分
二日	（四日）	五、二〇 一九、五五	一二、四五 〇、三〇
三日	（五日）	六、〇五 二〇、三〇	一三、二〇
四日	（六日）	七、〇〇 二一、一五	一、四〇 一四、〇五
五日	（七日）	七、四五 二一、四五	二、二五 一四、四〇
六日	（八日）	九、一〇 二二、二五	三、三五 一五、三〇
七日	（九日）	一〇、三〇 二三、〇〇	四、五〇 一五、五五

素晴しい活躍振り

誕生間もない内郷引揚者聯盟

内郷町に於ける引揚者聯盟は去る十二日結成後直ちに厚生相談所を開設して就職問題に全力を擧げ、近々半ケ月の間に二十余名の就職者を見たが、今度地元民の協力に依り綴驛前の明治堂菓子舖を借受け販賣部を設置、引揚者同胞の生必物資の獲保、配給に乘り出したが同時に現下の資金難、新圓不足對策として物資の交流を目指し全所に日用品交換所を開設、官營に依らざる引揚者の自力更生に積極的に乘り出す事になつた、尚全聯盟では勤勞署、各種團体と協力、失業對策としての土木事業等に對する勞力の補給の積極的協力運輸部の設置に依る勞力補充等の計畫も進めて居るが地元が炭礦地帶だけに將來の活動は見るべきものがある

小名濱農業會

事務所を移轉

小名濱町農業會は役場内に事務所を置き、營業所を舊玉川信組に置いて來たが、今度國民健康保險組合の休止により、衞生課及び厚生課の擴大となり役場が狹くなつたゝめ今度本町岡崎屋新宅に事務所を移轉獨立するに決し一日來新事務所で業務を開始した

列車に跳らる

大浦村大字細谷字辨天前一農清緻長男鈴木進ちやん（八）は一日午后五時半頃近くの線路で友達と遊戯中誤つて列車に跳ねられ后頭部に重傷生命危篤

胸を刺る

平工生が喧嘩で

磐崎村上湯長谷字力石縣立平工業三年生齋藤英（一六）は一日湯本町笠野で同町三函土工藤田義巳（一七）と口論、胸部を刺され重態

平市酪農組合誕生

乳幼兒ご病人への救の手を

牛乳不足から乳幼兒は勿論病人すら滿足な配給を受けられず苦しんでゐる有樣だが、市民の健康上由々しい問題であると、市内の酪農家八戸は同胞愛に依りこの危機を救はふと今度平市酪農組合を結成、市配給課と協力し、市の配給券持参者に優先配給する一面、諸準備の整ひ次第にバター其の他の製造にも乘出し且つ農家への乳牛飼養の勸獎等も試みることゝしてゐる、組合役員は左の通りだが處理場の經營その他は一切北目の鈴木文二氏に委託の形式をとつて統制をとることになつてゐるとありその前途は期待されてゐる

▼組合長鈴木勇▼副組合長相田三次▼理事兼會計鈴木文二

家なき母子

湯本町で應急救濟

住宅難はいづこも深刻――湯本町役場へ一日朝九時半頃折柄の雨に濡れそぼれて三人の子供を連れた女が泣き込んだ、右は熊本縣生れの横田しげのさん（三三）と長女さとみさん（九ツ）二女えい子さん（六ツ）長男芳信君（四ツ）とあつて夫が病歿後、湯本町に流れ込んで裏の山の横穴壕に生活して働いてゐたが、この程この壕にも蓋がされてしまひ、家はなし何とも途方に暮れたものと判つた 役場でも同情し何とか家のみつかるまで應急救濟策を講じてやることゝしそのまゝ收容した

飛込み自殺

三十日夜八時頃常磐線上り列車が磐崎村岩ケ岡附近を驀進中陸軍カーキ色シャツ及び同色下紐付ズボン姿の二十七八歲の男が飛込み自殺を遂げたが遺書其の他なく身元不明

大幅な退職金

小名濱健保英斷

事業休止により事實上の解散を斷行するに決した小名濱町國民健康保險組合では、三十日最后の幹部會を開いた結果、退職する常務理事外職員に對する退職金給與問題を協議、志賀理事長の英斷により時局柄平均一年半宛に相當する給與をなすことにしたゝめ何れも大喜びである

殺人的な混雜振り

不正亂暴乘客は斷乎取締る

平驛遂に市民の協力を要請

列車の混雜振りは相變らず甚しく、殊に平發上り午前零時四十二分や同じく一時四十分なぞ殺人的混雜振りで、去る一日の零時の列車なぞ改札したもの百七十四名中辛じて乘車し得たものは僅かに三十余名といつた狀態に從つて乘車に當つては窓のガラスを叩き破つて乘込むものすらあり、驛員の制止なぞ馬耳東風の有樣で、驛でも手を燒いてゐる始末に、今後は制限以上の荷物の所有者等は遠慮なく取締ると共に、不正乘車はどし〳〵摘發、嚴罰で臨むことになつた、右について驛では語る

食糧難の折柄或る程度の買出しは無理はないとみてゐるが驛員の制止も聽ばこそ、山のやうな荷物を持ち込み、窓ガラスを叩き破つて乘車するのには呆れた、これでも日本人かと思ふやうだ、あれでは戰爭には勝てぬ譯だ、今后は食糧難も一層深刻化することは必然なので、一段とかゝる亂暴なものが增加すると思ふ、然しお互の迷惑も考へて貰いたいと思ふ、驛も極力民主化を目指してゐるがこれでは民主化どころの騷ぎではない、これからは取締りも嚴にするが市民諸君も事態を認識、是非驛と協力公德心の涵養につとめてもらひたい

いわき寸言

▽田町區内會婦人部が開戰中のあの華かな歡迎も今は忘れ復員者に一掬の同情も慰めも與へぬ不人情さに憤激、兵指導者に罪あつても兵には罪はない、同胞愛で溫く迎へよと申合す、眞に嬉しいことと斯くてこそ婦人部の意義もあるといふもの

▽内郷の引揚者聯盟、他力本願を捨てゝ自力で更生策を樹立、着々實行してゐる、この意義こそ尊いもの、周圍も飽迄援助を惜しんではならない

▽夜行列車の殺人的混亂ぶりに平驛も遂に手を燒く、窓ガラスを破るに至つては言語同斷、こんなことでは日本人の道義心を疑はれても一言もなし、深く顧みねばなるまい佗しい限りと申すべし

製塩釜も製造

タモツ鐵工所擴張

湯本町驛通りタモツ鐵工所では場内設備もこの程完備したので今度營業種目を擴大し、礦山機械、電氣、酸素熔接、自動車及三輪車發生爐、船舶に械の修理製作の外に自動車一般修繕、製鹽釜製造等も乘り出すことに決定期待されてゐる

富ケ浦病院
院長 安田善一
電話三三

内科　小兒科　眼科　産婦人科　耳鼻咽喉科　外科　皮膚科　泌尿器科　臨床試驗室　藥劑士

安田善一　佐藤忍　師田むめ子　筒井榮　下田林之助　師田むめ子　下田林之助　佐藤忍　足立理義　依田壽美子

豫約に應ず
一、大谷石 六、十角 尺、八角
久方振りに近日入荷、數量限定お早くお申込み願ひます
平市五丁目十一
井上貞治郎
電話六六番

大衆は何を考へてゐる？
食糧の危機に喘ぐ巷に拾ふ

減配に次ぐ減配にも拘はらず依然として續行される遲配、缺配に國民の悲痛な叫びは日一日と增加してゐる、米寄こせ大會が宮城前で開かれ、喰はせろのデモが帝都の中央を練り歩る〱、之に對應するかの樣に各地に所謂食糧危機突破推進會とか對策委員會なるものが續發してゐる、狹いこの平市だけにも目ぼしいところで先に市長を委員長とする平市食糧委員會が出來、食糧營團平支所では業務協力委員會を設け二、三日前には地方事務所長を委員長として生産、消費兩專門委員會を綜合する食糧對策委員會が誕生した、だが遲配は相變らず三日延び、一週間延びが續けられて居る、救國運動の未利用資源もそのまゝ、粉食工場は未だ十分の一も動いてゐないで採取された學童達の苦心の雜草類は風雨にさらされてゐる、『止めて止まらぬ四三の一手』と聯珠ではないが止めても〱止まらぬ闇の賣買は所謂生きる本能の絕無にならぬ限り根絕はむづかしい、斯る狀態の中で國民は大衆は如何に生きて行くか、如何に考へてゐるか殊に若い青年男女層は……一日記者は街頭に巷の聲をきいて見た

空手形はもう眞平
委員會なぞより先づ肥料を
農民の苦境も少しは顧みよ

【農民A（二六）】私は昨年十二月復員した者です歸つて來て驚いた事は出征前より政府のやり方がひどくなつてる事です供出への見返り肥料も話だけ、代金も一年延ばし、供出褒賞は日が經てば猫の目の樣にすぐ變る、之ではとても眞面目に政府の言ふ通りやつてたのではだまされ通しで裸になつて了ふ、皆が同じ樣に裸になるならそれも我慢しよう、生産者だ神樣だ等とおだて上げられて陰でぶつたをれる迄しぼり取られるのは辛棒出來ない、食糧對策會等も顔ぶればかり並べるより項目などを定めるよりも少しも肥料を余計に呉れ、供出代金を直ぐ支拂ふようにして呉れ、有るものは何でも出す

【農民B（三〇）】市民が物にも金にも不自由のないおえらい方がいくら顏を揃へたつて出ないものは出ないよ、生活に困らない人達の食糧對策なんぞおかしくつて農民がほんとに信じられるか、俺達も金が欲しい鍬一丁に米三升だ、自轉車一臺に一俵半だ、魚粕一俵千五百圓だなぞと云ふ町の奴等に保有米を減らしてまでも出してやるなんて眞平だ、炭礦夫だつて農民だつて重勞働には變りはないのに採炭夫は今迄通り六合配給で農家は何かしらあるからつて二合七勺でやれつてそんな馬鹿な話が何處にある、農家だつて畑作專門もあるし、田作り專門もある、畑作りは日錢がある指定業者で資金封鎖だ、それも良いだが先に言つた樣な肥料や農機具を買ふ金は何處から出す、手品使ひじやあるまいし空の財布から千圓も二千圓も生み出す事は出來ない闇でも賣るきり手はない

三度の飯だけ滿足に
日曜日は買出し

【中學生（一六）】父は某公吏です、今度の昇給でいくらか追付ける樣ですので月謝も安心して貰へます、お米もお芋も買つてやると云つてますお辯當は作つて呉れますが夜の雜炊はお腹が空いて困ります、甘い物は喰べたいけどそれよりも三度〱の御飯を何とか滿足に喰べられる樣にして欲しいです

【一女學生（一七）】ほんたうに困ります家は私を頭に六人下があり八名家族ですがお母さんのやりくりは並大抵でありません、小商ひで父の收入の外に少しでも毎日入るので助かりますが夫が全部子供達の食糧に早變りいたします、私は殆んど日曜毎に買ひ出しに行きます、平で買つたので五十五圓もしますから足代と時間をかけても遠くへ行きます、でもこの頃はうるさくなつたので少しきり持つて來れませんが二升位もつて來たのでは二、三日でなくなつてしまふので困りますこんな生活をしなくても配給だけですむやうに早くして戴きたいものです

小口信用貸金
湯本町東町二三七　青柳

頼れぬのは現在の政治

【一旋盤工（二六）】自分は父母妻子を抱えて六人家族であるが日に七勺位の加配米ではとても足りない、俸給は七百圓貰つて居るが生活は五百圓きりだ、毎月米代だけでも四百五十圓かゝる、各種の食糧對策委員會も我々から云へば空手形の發行者の樣に感ぜられる、現在の政治機構ではこの種名譽職は何にもならない、我々は一時も早く社會黨や共産黨に依る民主政府の出現をのぞむ、現在の我々はたよるべきところがないのだから結局買出しをするきり外に手はない、生きて行く爲には仕方がない

罪となつても闇買
生きる途はただこの一筋に

【一雜貨商の妻（二八）】主人はかつて左翼運動にたづさはつた事もあり現在の經濟機構では食糧對策の打開は到底望み得ないと申して居りますが私の場合はそんな事よりも今どうするかが問題ですと常に主人にたてつきますが結局は各自、自分の力で自分の生命を保持して行くきりないことに落ちつきますいくら食糧對策案が出來ても遲配、欠配が續く以上私達はどうにもなりません、それかと云つて闇の米やいもを買はなければみす〱親子して餓死しなければなりません、ないものは持つてる人から讓つてもらふきり方法がありません、それが違反になると云はれても死ぬのを待つてる譯には參りません、出來秋迄の四ヶ月を私達消費者は各自が各自の能力で食糧を集め維持するきり手がないでせう、そして出來ない者は落伍して行く事になるでせう

開放

投書を歡迎す
要望批判結構
紙上匿名可

貨物自動車へ

▼…平の一丁目から二丁目にかけての道路は大變修理されたが田町中央通り等は穴だらけの凸凹道路、こゝをトラックが暴れて通る、天氣の日はよいが雨の日は眞に閉口仕る、うつかりしてゐやうものなら頭から泥水の洗禮だ

▼…天下の大道だ、この忙しい時勢だ、スピードの世の中だ、一時間、否三十分早く着いたら何圓といふ新聞の獲得差が生じるのだ、せち辛い今日人のことなぞ考へてゐたらこつちが食はれてしまふといつてしまへばそれまでのことかも知れない

▼…然し大道は君達トラックのみの大道ではない、この道路の破損もその原因の大部分は鋪裝や基礎工事の不備に歸するかも知れないが一半の責は自動車にあるのではあるまいか？これを考へたら雨の日人通りの激しいところは少し考へては貰へまいか、

▲…最近よくジープが走る、彼等は水溜の箇所に來るとスピードを落すか迂回して通行人に大變氣を兼ねて走る、相手は戰勝國これが日本人だつたら面白半分に逆に水溜の箇所を選んでスピードを增して飛ばし泥水洗禮を受けさせて快とすることと思ふ

▼…同じ日本人同志がこれで良いのか？昔の自動車は雨の日は泥除けをつけぬと取締られたものだ、終戰となつたが物資の不足で泥除けなどないといへばそれまでのこと、然し業者に運轉手諸君に公德心さへあれば何とか工夫はつくであらう

▼…戰爭の敗因は科學の劣つたところにあるといふかも知れない、然しよく考へてみると案外こゝらの自分勝手なところに最大な原因はあつたのであるまいかと思ふ――トラックの運轉手諸君よ！大いに反省をして貰ひ度いと思ふ、これは自分一人の考へではない雨の日の通行人の誰しもが切實に考へさせられてゐる問題である

（平市海田青兒）

郡下の傳染病

一日から衛生強調週間に入り郡下各町村でも傳染病の豫防、花柳病の一掃に淸潔法の實施、媒介昆虫源の撲滅等々に或は講演會に一齊に活動を開始したが、郡下の去月三十日現在の傳染病患者數は左の通りとある

マラリヤ三七、赤（疫）利三、パラチブス七、流行性腦炎四發しんチブス三二、腸チブス三四、計一一七

映畫だより
今月のプログラム
洋畫と爆笑の對立

平市内の平館、聚樂館兩館の今月四日から月末迄のプロは左の通りで、前月の寂しさを取り戻すべくメトロの洋畫も一本聚樂館で封切れば、平館では食糧危機のもの佗しさ、憂欝も切めて笑に消し飛ばして元氣にと〃ほがらか週間〃と銘打つて新作爆笑映畫三本建でサービスするとあり、ちよつと賑かなプロである

【聚樂館】

▽四日から東寶吉屋信子原作〃母の曲〃主演原節子、入江たか子、岡讓二

▽十一日からメトロ映畫〃迷へる天使〃マーガレツトオブラエン主演

▽十八日から大映〃夜光る顔〃菊田一夫原作、伊澤一郎、相馬千惠子主演

▽二十五日から大映〃飛ぶ唄〃金子洋文原作、嵐寬壽郎、羅門光三郎、高山弘子主演

【平館】

▽四日から松竹〃人妻椿后篇〃小島政二郎原作上原謙、川崎弘子主演

▽十一日から松竹〃はたちの青春〃佐々木康、柳井隆雄主演

▽十八日から〃ほがらか週間〃として〃希望の船出〃〃十万圓の夢〃〃ネオン頂戴〃小杉勇、山内明、南光明、朝霧鏡子主演

▽二十五日から〃良人の貞操〃吉屋信子原作、千葉早智子高田稔、入江たか子主演

生活と文化
傳說物語から
――トリスタンとイゾルデ――

かつみ

（一）

トリスタンとイゾルデの傳說も又アーサー王の圓卓の騎士を中心としたランスロットと王妃ギニヴアーの戀物語に讓らぬものがある、かのマシユー・アーノルドやスインバーンの詩を擧げるまでもなく有名なワグネルにより歌劇として不朽の表現を與へられたのである

トリスタンはコオンオールの王マークの賴みを受けて、アイルランドの王女イゾルデを迎へて歸航の途についた。

トリスタンはこの以前マーク王のために、三百ボンドの白銀と三百人の少女を求めるアイルランド王の貢の使を斥けたことがある。その時彼は敵の刄によりかすかな手傷を受けたがその刄には激しい毒が塗つてあつたこれを消すものはアイルランドの王女イゾルデが秘藏する靈藥の外にはなかつたのでトリスタンは樂人に姿をやつしてイゾルデの館を訪れた。この時彼は初めてイゾルデの姿をみてマーク王の許に歸つてこの美しさを讚へた。これによりマーク王はイゾルデを迎へるための使として再び彼をアイルランドへ送つたのであつた。

トリスタンはパルメニアの領主メリアダスの遺子でその母はマーク王の妹であつた。トリスタンがダブリンの街へ上陸すると折柄その地には一尾の毒龍が現はれて人々に害を加へるので王は全國に觸れてこの害を除いたものには恩賞として王女イゾルデを與へやうと布告を下してゐた。トリスタンは大いに喜んで大膽にも單身惡龍の棲所に向ひ美事に退治、證據にその舌を切り取つたが自分も龍の毒にあたりその場へ氣絕してしまつた

然しトリスタンは今度もまたイゾルデに救はれて甦つた、この時からイゾルデの心にはこの若い騎士の姿が深く深く食ひ入つたのである。

トリスタンは王の前へ進んで切り取つた龍の舌を證據に約束の恩賞を所望した。王の口から王女イゾルデを勇敢な騎士に與へるといふ許可をきいた時王女イゾルデは思はず顏を赤くした